

認証保育所と認可保育園の保育料格差是正を求める陳情

(福祉健康委員会付託)

受理番号 第72号

受理年月日 平成24年1月13日

付託年月日 平成24年2月20日

陳情者
.

陳情原文 私は2010年に出産し、育児休暇の後に仕事復帰することを希望しておりました。

しかし、子どもの生まれ月が12月であったことから、育児休業後子どもが1歳になる12月に認可保育園に入園させることは不可能と考え、また育児休業を延長して4月に1歳児枠の入園を希望しても、江戸川区では認可保育園での0歳児保育を原則行っておらず、1歳児枠の入園希望が集中するため認可保育園への入園は非常に競争率が高く難しいと聞き、迷った末に0歳児の時点で何とか入園可能であった認証保育所に子どもを預け、仕事に復帰いたしました。

認証保育所の温かい保育により子どもは元気に成長しており安心しておりましたが、秋になり認可保育園の募集を目にするようになって調べて驚いたのが、その保育料の格差でした。また、1人目が認可保育園に通った場合には2人目の認可保育園入園についても優遇されるということも知りました。これでは、運よく1人目の子どもを認可保育園に入れることができた家庭が2人目の認可保育園入園についても優遇される一方で、1人目を認証保育所に通わせることになった家庭は2人目の保育園入園時にも認可保育園への入園は難しく、その結果もし2人ともが認証保育所に通うことになった場合、更に厳しい保育料負担・認可保育園通園児との保育料格差に苦しむこととなります。

わが子は2011年12月で1歳を迎え、本来であれば2012年4月の認可保育園の募集にも応募してみるべきところではありましたが、せっかく現在の園の先生やお友達にも慣れて園で楽しそうに過ごしており、また自宅と園以外の場所での人見知りも激しくなってきた時期でもありましたので、今の時点で再度環境を変えることは本人の心にとって良くないと考え、今回は認可保育園への応募は見送りました。現在通っている認証保育所のサービス・保育料に納得して行った決定ではありますが、認可保育園と認証保育所の保育料格差は子どもの年齢が上がるごとに大きなものになっていくため年々不公平感は増しますし、もし2人目の出産を考えた場合には、兄弟2人を同時に認証保育所に通わせることは経済的に厳しいだろうと考えています。そうすると、いずれは転園を検討しなくてはなりません。

保育園は子どもたちが1日のうち長い時間を過ごす場所です。保育園の選択が純粋に保育園との相性・信頼関係によってのみ行われるよう、東京23区内では唯一江戸川区だけが何の補助も行っていないという、認証保育所に通う子どもを持つ保

(裏面に続く)

護者への保育料補助をぜひとも実施していただけますようお願いいたします。

また、江戸川区では認可保育園への入園希望者が全員入園できず、待機児童がたくさんいるという状況です。認可に落ちても、信頼できる認証保育所を見つけてそこに通うことを選択する保護者がいることで、認可保育園の待機児童の数が本来の数より減少しているはずですので、江戸川区の待機児童問題解消に貢献していると認められる認証保育所には、ぜひ積極的に区から補助を行い、そこに通う子どもたちのために、認証保育所の保育環境をより充実させることも検討していただきたいと考えます。

つきましては、貴議会においてこれらの問題に対処していただきたく、下記の通り陳情いたします。

記

- 1 東京都23区内で唯一江戸川区だけが実施していないという、認証保育所を利用する保護者たちへの補助を実施してください。
- 2 江戸川区内の待機児童問題解消に貢献していると認められる認証保育所には、江戸川区から補助を行ってください。